



平成 30 年 5 月 10 日

各位

会社名:フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
(コード:8462 JASDAQ スタンダード)
代表者名:代表取締役社長 松本 直人
問合せ先:執行役員管理部管掌 富永 真哉
(TEL:075-257-2511)

特別損失の計上及び前年同期の実績値(連結・個別)との差異に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 3 月期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)において、連結子会社における投資有価証券評価損(連結)、関係会社株式・出資金評価損(個別)を計上しましたので、お知らせいたします。また、平成 30 年 3 月期の業績(連結・個別)につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、合わせてお知らせいたします。

記

1. 連結子会社における投資有価証券評価損(連結)の内容

米国の連結子会社であります FVCA Holdings, LLC が保有する投資有価証券、P2Binvestor, Inc 株式につきまして、簿価に比べて実質価額が著しく下落したため、減損処理による投資有価証券評価損 103 百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 関係会社株式・出資金評価損(個別)の内容

上記に伴い、当社の個別決算において関係会社株式・出資金評価損 304 百万円を計上いたしました。なお、関係会社株式・出資金評価損につきましては、連結決算上消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

3. 平成 30 年 3 月期の業績と前期実績値との差異

(1)連結

	売上高	営業損失	経常損失	親会社株主に帰属 する当期純損失	1株当たり 当期純損失
前期(平成 29 年 3 月期)実績 (A)	百万円 365	百万円 △650	百万円 △686	百万円 △491	円 銭 △62 68
当期(平成 30 年 3 月期)実績 (B)	756	△62	△67	△293	△32 97
増減額 (B-A)	391	588	619	198	—
増減率	107.2%	—	—	—	—



(2)個別

	売上高	営業損失	経常損失	当期純損失	1株当たり 当期純損失
前期（平成29年3月期）実績 （A）	百万円 278	百万円 △373	百万円 △401	百万円 △446	円 銭 △56.99
当期（平成30年3月期）実績 （B）	533	△82	△75	△373	△42.02
増減額 （B－A）	255	291	326	73	—
増減率	91.8%	—	—	—	—

3. 差異が生じた理由

当連結会計年度においては、未上場企業の営業投資有価証券の売却を進めたこと、国内上場企業向けファンドでの成功報酬を計上したこと及び当社が運営するファンドにおける連結除外の影響で、内部取引として相殺消去される管理報酬の額が減少したこと等により、売上高は増収となりました。国内外の子会社数の増加により経費は増加しましたが、営業投資有価証券の売却益により、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失の赤字幅は縮小いたしました。

なお、株式会社 All Nippon Entertainment Works の株式取得に伴う負ののれん発生益(特別利益)を計上いたしましたが、その後、同社株式の譲渡により関係会社株式売却損(特別損失)を計上したことに加え、米国コロラド州におけるコワーキング事業の撤退による特別損失及び投資有価証券 P2Binvestor, Inc 株式の投資有価証券評価損(特別損失)を計上しております。

一方、個別業績においては、未上場企業の営業投資有価証券の売却を進めたこと等により、売上高は増収となりました。営業投資有価証券の売却益により、営業損失、経常損失、当期純損失の赤字幅は縮小いたしました。なお、今般の関係会社株式・出資金評価損を特別損失に計上しております。

以上